

臨床医学4 第11回

8-50 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

大動脈癌とは、大動脈の血管壁が(1)し、限局的に拡張し(2)になった状態である。大動脈の内膜が亀裂して、大動脈壁内に出血し、内膜が解離する疾患を(3)という。(4)では無症状なため胸部レントゲン写真などで発見される場合が多く、周囲への圧迫から、呼吸困難、嘔声、嚥下障害などの症状があらわれる。(5)では下腹部痛、腹痛、切迫破裂のとき強い痕痛が現れるが、無症状ですごくすことが多い。

語群

- a. 急性大動脈解離
- b. 胸部大動脈瘤
- c. 腫瘤状
- d. 脆弱化
- e. 腹部大動脈瘤

8-53 静脈、リンパ管、リンパ節について、適当なものを語群より選び、記号で答えなさい。

(1)開腹術、外傷、避妊薬の常用などにより、静脈うっ血と血液の変化がおこり、静脈に血栓が形成される状態である。

(2)下肢静脈に血流のうっ血、静脈圧上昇がおこり、血管が拡張、蛇行する状態。

(3)原因のほとんどが肝硬変で、食道の静脈が癌のように膨らみ、静脈癌が破裂すると、出血性ショックをおこす。

(4)上大静脈、腕頭静脈などが閉塞あるいは圧迫閉塞され、上肢、頸部、顔面、頭部の静脈がうっ血する。

(5)直腸末端の静脈叢が拡張したもので出血と痕痛が主な症状。

語群

- a. 下肢静脈瘤
- b. 痔核
- c. 上大静脈症候群
- d. 食道静脈瘤
- e. 静脈血栓症

8-55 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

呼吸器の検査では、溶痰の菌検査として(1)、(2)を行う。また、細胞診で(3)を行う。胸部単純X線検査では正面像と側面像で最大吸気位で撮影する。(4)は異常影の分析に力を発揮する。気管支鏡検査は、ファイバースコープにより(5)の観察と(6)を行う。150m0ほどの生理食塩液を注入後、この洗浄液を採取し洗浄液や細胞を分析する(7)も行なわれる。胸水を採取し、その性状から原因疾患を推定する(8)や、指センサーに装置し、動脈血の酸素飽和度を測定する(9)もよく使われる。

語群

- a. パパニコロウ染色 b. パルスオキシメータ c. 気管支内腔
d. 気管支肺胞洗浄法 e. 胸腔穿刺 f. 胸部CT検査 g. 経気管支肺生検
h. 塗沫検査 i. 培養検査

8-56 次の図で()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。



語群

- a. 70 b. 80 c. 拘束性換気障害 d. 閉塞性換気障害

8-62 次の図で()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

肺炎は、(1)におこる急性、慢性の感染性炎症で、取扱いの上から(2)と(3)に分けられる。最近のわが国での死因順位では第(4)位である。聯下性肺炎は(5)例にしばしば併発し、(6)に多く発症する。

語群

- a. 4 b. 院内型 c. 高齢者 d. 市中型 e. 脳梗塞 f. 肺実質

8-66 細菌性肺炎の検査について、次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

- ・ 聴診……………粗い(1)が聞かれる。
- ・ 胸部 X 線写真……………浸潤影と同時に(2)が見える。
- ・ 血液検査……………(3)、(4)、(5)を認める。
- ・ 喀痰検査……………(6)、(7)、(8)、薬剤感受性試験を行う。
- ・ 血液培養……………(9)にあわせて実施すると、原因菌を発見しやすい。

語群

- a. CRP 強陽性 b. 気管支影 c. 湿性ラ音 d. 発熱前の寒気 e. 赤沈亢進
f. 塗沫 g. 同定 h. 培養 i. 白血球増加

8-74 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

急性気管支炎は、気管支粘膜の(1)によって激しい(2)と白い(3)の痰である。(4)や(5)でおこる他に、刺激性の(6)の吸引によってもおこる。

語群

- a. インフルエンザ b. ガス c. 炎症性変化 d. 咳 e. 普通感冒 f. 喀痰

8-75 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

アレルギー性鼻炎は、(1)によっておこる鼻の症状である。抗原は(2)、(3)、(4)など種々で、抗体は(5)である。主な症状は(6)、(7)、(8)である。検査はアレルギー疾患の患者血中に存在する抗体を検出する(9)などで調べる。治療は抗原抽出液による(10)がある。

語群

- a. IgE b. RAST c. アトピー性アレルギー d. くしゃみ e. 家ほこり f. 花粉
g. 減感作療法 h. 水様性鼻漏 i. 動物の毛 j. 鼻閉

8-79 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

気管支喘息は、気管支炎を伴う(1)や(2)により、発作性の呼気性呼吸困難と喘鳴を特徴とする(3)である。(4)、(5)、(6)に分類される。また、他の誘引による喘鳴として、非ステロイド系鎮痛消炎薬の使用によって誘発される(7)、運動によって喘鳴症状が出現する(8)がある。

語群

- a. アスピリン喘息 b. アトピー型 c. 運動誘発性喘息 d. 感染型 e. 気道過敏性
f. 気流制限 g. 好酸球性気道炎症 h. 混合型

8-86 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

じん肺症は、(1)の多い職場での長時間作業でおこる(2)である。無機粉じん吸入により肺の(3)がおこる。病態は(4)であるから、粉じん作業者の(5)による早期発見が大切である。胸部X線写真で全肺野の(6)と肺門部リンパ節の(7)、(8)など多彩な陰影がみられる。

語群

- a. 塊状影 b. 職業性肺疾患 c. 石灰化 d. 線維化 e. 定期検診 f. 不可逆性
g. 粉じん h. 粒状影

8-92 問 92 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

肺水腫は、(1)が多量に増加した状態である。心筋梗塞や心弁膜疾患による(2)によりおこる場合を心原性肺水腫といい、心臓喘息ともいわれる。喀痰量の増加とともに(3)、(4)、(5)となる。呼吸数の増加とともに(6)のピンク色の喀痰を喀出する。胸部X線写真では肺門中心の(7)があらわれる。

語群

- a. 起座呼吸 b. バタフライ像 c. 呼吸困難 d. 左心不全 e. 肺血管外水分量
f. 泡沫状 g. 喘鳴

8-93 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

間質性肺炎は、肺胞壁を含む間質が主な病変の場で、肺胞隔壁に(1)と(2)があり、末期には線維性変化を伴う炎症性肺疾患である。線維化の進行で肺胞隔壁は(3)し、徐々に(4)が出現する。肺線維症は(5)の結果として肺に線維性結合組織の増殖をおこし、肺野が(6)した状態をいう。

語群

- a. 炎症細胞浸潤 b. 間質性肺炎 c. 拘束性換気障害 d. 縮小 e. 肥厚
- f. 浮腫

8-97 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

胸水は、胸膜炎、肺癌、心不全、低蛋白血症などに伴い、(1)や(2)の液体が胸腔内に貯留したものである。量が多ければ肺が圧迫され(3)となる。呼吸困難が強い場合は、(4)や(5)を行う。

語群

- a. 胸腔穿刺 b. 酸素吸入 c. 無気肺 d. 漏出性 e. 滲出性

9-2 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

胃・十二指腸疾患の主症状は(1)、(2)、(3)からなり、腹痛は腹腔内臓器からおこる(4)痛、体壁の内面よりおこる(5)痛、内臓に疾患があるとき特定の部分におこる(6)痛などがある。また、吐血は食道・胃・十二指腸に多く合併し、胃酸とまじり(7)、(8)になり、吐血は(9)となる。下血時に見られる黒色便は(10)といわれる。

語群

- a. 腹痛 b. コーヒー残渣様 c. 内臓 d. 下痢 e. 便秘 f. タール便、
- g. 暗赤色 h. 体壁 i. 喀血 j. 吐下血(消化管出血) k. 黒色
- l. 放散 m. 黄色 n. 嘔吐 o. 関連

9-8 胃・十二指腸潰瘍について正しいものには○、誤っているものには×を記載しなさい。

- (1) 胃液の消化作用による消化性潰瘍と総称される。
- (2) 治癒すると、再発はしない。
- (3) 十二指腸潰瘍は若年に多く、胃潰瘍は高齢者に多い。
- (4) 男性より女性に多い。
- (5) 胃潰瘍の好発部位は胃角部小彎線上である。

9-19 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

急性虫垂炎の消化器症状として(1)、(2)、(3)などがある。疼痛は時間経過とともに(4)へ移動する。そのほかに全身症状として(5)、(6)増多などの所見を伴い、診断には(7)、(8)、(9)、(10)などの局所所見が重要である。

語群

- a. マックバーネーの圧痛点 b. 下痢 c. 嘔吐 d. 血便 e. 悪心、
f. 圧痛 g. 右下腹部 h. ソーセージ状所見 i. 金属製腸雑音
j. 筋性防御 k. 心窩部痛 l. 白血球 m. 発熱 n. 腹壁緊張

9-22 ヘルニアについて正しいものには○、誤っているものには×を記載しなさい。

- (1) 副臍ヘルニアは小児に見られ臍のすぐ上の筋膜に隙間ができる。
- (2) 臍ヘルニアは先天性奇形で、根治手術を行う。
- (3) 臍帯脱落后、腹圧によって伸びてヘルニアになる。2～3歳児に発生する。
- (4) 腹壁癒痕ヘルニアは、腹部の手術癒痕部から腹膜に被われて内臓が脱出したものである。
- (5) 横隔膜ヘルニアは異常裂孔から腹腔の臓器が胸腔内に入り込む状態で食道裂孔の場合が多い。

9-27 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

クローン病の症状として、若年の(1)や、腹痛、(2)、(3)、(4)などの症状が見られ、肛門部の病変には(5)、(6)、(7)などの局所症状や、皮膚病変としての(8)、(9)、そして消化器の通過障害の症状である(10)がある。

語群

- a. 壊死性膿皮症 b. 結節性紅斑 c. 腫脹 d. 体重減少 e. 腸閉塞 f. 排膿
g. 発熱 h. 貧血 i. 慢性下痢 j. 疼痛

9-29 次の()内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

潰瘍性大腸炎は直腸から口側に発生する(1)性で、(2)性の病変を来たす(3)の大腸炎である。病変は(4)や(5)が多発し、原因として精神的な(6)がある。10年以上経過した(7)には、(8)発生の可能性があり、必ず(9)に病変がある。男女差はなく(10)歳代に好発し、難病に指定されている。

語群

- a. 大腸癌 b. 10 c. 20 d. ストレス e. びまん f. 非連続性 g. 区域
h. 原因不明 i. 感染性 j. 直腸 k. 盲腸 l. 回腸 m. 潰瘍
n. 表層粘膜のびらん o. 慢性持続型大腸炎 p. 連続性

9-35 イレウスについて正しいものには○、誤っているものには×を記載しなさい。

- (1) 血行障害を伴わないものを閉塞性イレウスという。
(2) 機能的イレウスには、閉塞性と絞扼性がある。
(3) 症状として腹痛、嘔吐がある。
(4) 腹部所見として腹膜刺激症状がある。
(5) 閉塞性イレウスは、癒着、腸重積、軸捻転がある。

9-41 次の () 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

肝疾患の主症状である黄疸は血清(1)の増加で(2)や(3)が黄色調に変化する。(1)は(4)のヘモグロビンより(5)で生成され、血中の(6)は肝細胞で(7)抱合され、水溶性の(8)となる。また、黄疸には(6)優位型と(8)優位型がある。

語群

- a. 眼球結膜 b. グルクロン酸 c. 蛋白 d. 爪 e. ウロビリノーゲン
f. ビリルビン g. 間接ビリルビン h. 赤血球 i. リンパ節 j. 直接ビリルビン
k. 皮膚 l. ウロビリリン m. 網内系(脾臓)

9-43 次の () 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

門脈圧亢進症の症状として(1)が重要で、食道・胃静脈痛の原因である(2)の形成、また、(3)減少として、特に(4)減少による出血傾向が重要で、(5)胃症などがある。

語群

- a. 汎血球 b. 赤血球 c. リンパ球 d. 血小板 e. 胸水 f. 腹水 g. 血栓
h. 門脈圧亢進 i. 高血圧性 j. 側副血行路

9-46 次の () 内にあてはまる語句や数字を語群より選び、記号で答えなさい。

劇症肝炎とは、(1)となった状態で、発症(2)週間以内に(3)症などの(4)症状となる。急性肝炎の1~2%が(5)化し、致命率は(6)。症状として悪心、(7)、(8)、(9)などの症状があり、経過とともに(10)になり、(11)の程度も進行する。また、肝萎縮による、肝濁音界の縮小、消失、(12)、(13)、(14)、(15)などの全身的他覚所見が出現する。

語群

- a. 8 b. 肝細胞壊死 c. 肝性脳 d. 肝性脳症 e. 急性肝不全 f. 劇症 g. 高い
h. 高度黄疸 i. 昏睡 j. 出血傾向 k. 食欲不振 l. 全身倦怠感 m. 浮腫
n. 腹水 o. 嘔吐